

高等学校公民科（倫理）採点基準

2枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答	[例]	採 点 上 の 注 意	配 点
1	1	5		6
	2	1		6
	3	5		6
	4	3		6
	5	1		6
	6	4		6
	7	4		6
	8	1		6
	9	1		6
	10	3		6
	11	5		6
	12	2		6
2	1	5		8
	2	2		8
	3	3		8
3	1	3		8
	2	6		8
	3	2		8
4	1	1		8
	2	3		8
	3	11		8

高等学校公民科（倫理）採点基準

2枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点
5	<p>学校図書館や地域の公共施設などを活用するとともに、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を積極的に活用し、指導に生かすことで、生徒が主体的に学習に取り組めるようにする。その際、課題の追究や解決の見通しをもって生徒が主体的に情報手段を活用できるようにするとともに、情報モラルの指導にも配慮する。</p>	<p>内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。</p>	12
6	1 <p>ジェームズは、真理は行為によって確認されねばならないというパースの考えを発展させ、ある思想が真理であるかどうかは、それが私たちの生活のなかで実際に役立つかどうかによって決まると主張した。真理の基準は、私たちの生活に役立つという性質をもっている、すなわち真理の有用性をもっているとする考え方である。彼はこの考え方によって、宗教も真理の有用性をもつことになるとした。</p>	<p>内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。</p>	10
	2 <p>デューイは、人々が利己主義におちいり、社会との結びつきを失っていることによって生じる現代社会の諸問題を、ヨーロッパの伝統的な哲学で解決することは不可能であると説いた。彼は、知性を、真理の探究にかかわるだけでなく、日常生活の問題を解決し、環境に適應する道具でもあるとして、道具としての知性の価値を強調した。彼は、このように、創造的知性を信頼し、この知性の働きによる民主社会の理念の確立を目指した。</p>	<p>内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。</p>	10
7	<p>まず、資料Ⅰの内容を読み取らせ、読み取ったことを全体で共有するとともに、必要に応じて教師が発問した上で「魂への配慮」とはどのようなことなのかを考察させる。この考察を通して、ソクラテスがアテネの人々に促したのは、人々は通常、富や健康や名誉といった価値を求めて生きているが、本当に大切なのは評判や持ち物や肉体ではなく、「魂」とよばれる自分自身であり、その善き在り方であり、魂をできるだけ善くするように配慮せよということであったことを理解させる。</p> <p>次に、資料Ⅱを用いて、自らの行いの正当性を主張したソクラテスは、なぜ自ら毒杯をあおいだのだろうか、などの問いを投げかけ、その理由について資料Ⅰを基に考察させ、ソクラテスは魂への配慮を何よりも優先し、逃亡という不正を犯すよりも国法に従って死ぬことが正義だと語り、善く生きようとする態度を最後まで貫いたことを理解させる。</p> <p>さらに、資料Ⅲを用いて、赤穂浪士の討ち入りに関わる大石内蔵助良雄の行動に着目させて、大石内蔵助良雄とソクラテスの生き方を比較し、この事例における善く生きるとは、どのようなことか、などの問いを投げかけ、歴史上の人物がどのように生きたかを考察させることで、人間としての在り方生き方について考えさせる。</p>	<p>問いを正しく捉えていれば、内容は異なってもよい。</p>	24